

## 第15期第3回理事会議事録

**日時** 昭和43年10月21日 17.30～21.00

**場所** 名古屋大学職員会館

**出席者** 山本理事長、大田、毛利、竹内、松本、北川、大井、小平、喜多村、中島、山元、武田、沢田、孫野、根本、神山、小倉、各理事

**列席者** 磯野大会委員長、西本名古屋地方気象台長

**報告**

**庶務:**

1. 10月15日気象庁予報部より気象学会から出したWMO/IUGG 数値予報 シンポジウム出席希望者は全員出席でき、別途文書で通知すると連絡があった。

2. 10月8日朝日賞候補者として山本義一会長を推薦した。

3. 10月14日学術会議第8期会員選挙開票立会人として気象研究所内田英治会員を推薦した。

大会委員長：最近名古屋大学で行なわれた2つの学会において、防衛庁及び軍関係講演者の構内立入りを名古屋大学五者連合会より拒否された件につき報告、本日同連合から防衛庁及び軍関係者の構内立入りを拒否する者の要望書が気象学会理事長及び大会委員長宛提出され、その代表者から面会を申し込まれた。

集誌：集誌の英文の向上を図るため、希望者には英文を直して貰うことを学会であっせんすることになっている。(第2回理事会議事録参照)。これを具体化するため、木原教授(お茶の水大)と打合わせることしたい。

国際学術交流：10月30日に委員会を開く予定。

学術会議関係：第51回総会が終った。当学会に関係ある事項として、科研費の問題、大学問題、筑波移転の問題等が討議された。

地物研連の中に大気電気研究小委員会が設けられることが決った。地物研連委の委員数を現在の約2/3に減らす案が第四部会に江上会員から示された。(結論)地物研連委員削減案については、現在増員を要望している段階であるから、研連委担当理事の善処をお願いする。

**議題**

議決事項

1. 名古屋大会でとった臨時措置について

大会委員長の判断により防衛庁および軍関係講演者の名大構内立入りは混乱を生ずると予想されたので、大会委員長、名古屋地方気象台長、庶務委員、講演企画委員で検討の上、理事長の承認を得て、大会委員長の名によって、それら関係講演者に講演辞退をお願いした。大会の開期中に開かれた第15期第3回理事会は、これを大会を円滑に運営するための処置として了承した。なお本件に関しては事の重大性にかんがみ、大会第2日に行なわれる理事長の挨拶の中で、経過の報告を行なうこととし、今後の方針としては個人会員の研究発表の自由を尊重すること、講演会を多数会員の意志にもとづいて円滑に運営することを両立させることを基本として慎重な態度で大会運営の計画を検討することとした。

2. 科研費補助金問題について

前回常任理事会における議決事項(1)科研費の審査委員は学会推せん者を主体とすることが望ましい(2)科研費に関連する GARP 問題については学術会議の勧告、測地学審議会の決定の線に沿って推進する)を承認する。

3. 今後の大会の運営について

講演企画担当理事大井氏より資料が提出された。本件は次回常任理事会で検討されることとなった。